

接種施設がワクチンを手入手するための方法について

- 現在、新型コロナワクチンとして利用できるのはファイザー社、武田/モデルナ社、アストラゼネカ社のワクチンです。いずれも配分できるワクチンの量には限りがあります。
- ファイザー社ワクチンは市町村から指定された接種施設等に配送を行っており、当該接種施設等から別の接種施設等にワクチンを小分けすることが可能です。
- 武田/モデルナ社ワクチンは、自治体が設置する大規模接種会場や企業等が設置する職域接種会場に配送を行っており、当該会場から別の接種施設等に小分けすることは認められていません。
- アストラゼネカ社ワクチンは、都道府県と市町村が調整して設置する接種センターに配送を行っており、当該センターから別の接種施設等に小分けすることは認められていません。

ファイザー社ワクチン

○ ファイザー社から直接配送を受ける場合

配分の作業スケジュールは国から都道府県にお知らせしています。また、配分できるワクチンの量に限りがあるため、希望した量が届かないことがありますので、ご了承ください。

- ① 指定された期間内にV-SYSへワクチン配分の希望登録をしてください
- ② 市区町村からワクチン等が配分された場合は、ワクチン量と納入予定日をV-SYSで確認できます

○ 他の施設から小分けを受ける場合

- ・ ワクチンのトレーサビリティを確保する観点から、必要事項をV-SYSに登録すること等を条件に、別の施設からワクチンを譲り受けることができます。

※ 詳細は次ページをご参照ください。



※ 武田/モデルナ社ワクチンとアストラゼネカ社ワクチンについては、職域接種会場を除き、自治体が調整した施設に納入されます。これらのワクチンを接種施設が独自に入手することは困難です。

V-SYS上での希望量登録_ファイザー社ワクチン（基本型接種施設）

納品数の登録

ワクチンが必要な基本型接種施設は、①対象ワクチンに「ファイザー」が選択されていることを確認、②ワクチン等の納入を希望するクール（＝納入時期）を選択、③都道府県・市町村と調整の上、ワクチン等の納品数を登録してください。

対象ワクチンの種類

①

ファイザー

ファイザーが選択
されていることを確認

納入時期(クール)を選択

②

ファイザー_PF3rd90(納入(10/4～))

ワクチン等の納入を希望する
時期(クール)を選択

ワクチン希望量等の報告

	ファイザーワクチン	クール	ファイザーワクチン
クール	ファイザー_PF3rd90(納入(10/4～))	ファイザー_12クール(6/22～)	6箱
標準配送期間	2021/10/04～2021/10/18	ファイザー_11クール(6/25～)	6箱
標準接種期間	2021/10/18～2021/10/18	ファイザー_10クール(6/16～)	6箱
		ファイザー_07クール(05/24～)(高)	6箱
③ 納入希望量登録	1170回接種分 × <input type="text" value="0"/> = <input type="text" value="0"/> 回接種分		
接種用針 (100本/箱) ※針はシリンジと等量を納品	× <input type="text" value="0"/> 箱 (<input type="text" value="0"/> 本)		
接種用シリンジ (100本/箱)	× <input type="text" value="0"/> 箱 (<input type="text" value="0"/> 本)		
希釈用針 (100本/箱) ※針はシリンジと等量を納品	× <input type="text" value="0"/> 箱 (<input type="text" value="0"/> 本)		
希釈用シリンジ (100本/箱)	× <input type="text" value="0"/> 箱 (<input type="text" value="0"/> 本)		

納入希望の登録

都道府県・市町村と調整後のワクチン等の納品数を入力してください。

V-SYS上での希望量登録_武田/モデルナ社ワクチン（大規模接種）

希望量登録

- ① 対象ワクチンに「武田/モデルナ(大規模接種)」が選択されていることを確認、
- ② ワクチン等の納入を希望するクール（＝納入時期）を選択、
- ③ 納入希望量欄に「希望量」を入力し、登録してください。

対象ワクチンの種類

1 武田/モデルナ(大規模接種) **武田/モデルナ（大規模接種）が選択されていることを確認**

納入時期(クール)を選択

2 武田/モデルナ_53クール(9/29~)(大) **ワクチン等の納入を希望する時期（クール）を選択**

ワクチン希望量等の報告

希望量変更を行う場合、希望量修正の上登録ボタンを押してください。 過去の分配実績

	モデルナワクチン	クール	モデルナワクチン
クール	武田/モデルナ_53クール(9/29~)(大)	武田/モデルナ_92クール(6/22~)(大)	100箱

上記クールは納入を希望しません(希望量0箱)

納入を希望しない場合
該当クールに納入を希望しない場合は☑してください。

3 納入希望量登録 100回接種分
× 0 = 0 回接種分

接種用針 (100本/箱)

納入希望量の登録

接種用シリンジ (100本/箱) × 0 箱 (0 本)

V-SYS上での希望量登録_武田/モデルナ社ワクチン（職域接種）

希望量登録

- ① 対象ワクチンに「武田/モデルナ(職域接種)」が選択されていることを確認、
- ② ワクチン等の納入を希望するクール（＝納入時期）を選択、
- ③ 納入希望量欄に「希望量」を入力し、登録してください。

対象ワクチン

1 武田/モデルナ(職域接種)

武田/モデルナ（職域接種）が
選択されていることを確認

納入時期(クール)を選択

2 武田/モデルナ_(職)●●クール(09/01週納入分)

ワクチン等の納入を希望する
時期（クール）を選択

ワクチン希望量等の報告

希望量変更を行う場合、希望量修正の上登録ボタンを押してください。

過去の分配実績

モデルナワクチン	クール	モデルナワクチン
クール	武田/モデルナ_(職)●●クール(09/01週納入分)	武田/モデルナ_92クール(6/22~)(大)
		100箱

上記クールは納入を希望しません(希望量0箱)

納入を希望しない場合
該当クールに納入を希望しない場合は☑してください。

3 納入希望量登録

100回接種分
× 0 = 0 回接種分

接種用針
(100本/箱)

接種用シリンジ
(100本/箱) × 0 箱 (0 本)

納入希望量の登録

V-SYS上での希望量登録_アストラゼネカ社ワクチン

希望量登録

- ① 対象ワクチンに「アストラゼネカ」が選択されていることを確認、
- ② ワクチン等の納入を希望するクール（＝納入時期）を選択、
- ③ 納入希望量欄に「希望量」を入力し、登録してください。

対象ワクチン

1 **アストラゼネカが
選択されていることを確認**

納入時期(クール)を選択

2 **ワクチン等の納入を希望する
時期(クール)を選択**

ワクチン希望量等の報告

	アストラゼネカワクチン	クール	アストラゼネカワクチン
クール	アストラゼネカ_●●クール(09/01週納入分)	アストラゼネカ_03クール(8/13～)	9箱

上記クールは納入を希望しません(希望量0箱)

3 **納入希望量の登録**

納入希望量登録 20回接種分
× = 回接種分

接種用針 (100本/箱) × 箱 (本)

接種用シリンジ (100本/箱) × 箱 (本)

納入を希望しない場合
該当クールに納入を希望しない場合は☑してください。

ファイザー社ワクチンを小分けする場合の留意点

ファイザー社ワクチンの小分けに当たっては、以下の通り、融通の記録を適切に管理する必要があります。

小分けする場合（融通元）

小分けするには以下の対応が必要。

【情報提供シート（様式7-1）の作成】

融通元接種施設名、年月日、ロット番号、バイアル本数等を情報提供シート（様式7-1）に記載。

【ワクチン分配管理台帳（様式7-2）の作成と保管】

サテライト型接種施設名、年月日、ロット番号、バイアル本数をワクチン分配管理台帳（様式7-2）に記載。

【V-SYSへの情報登録】

小分けした年月日、ロット番号、バイアル本数をV-SYS上に入力。

※ワクチン分配管理台帳（様式7-2）を参照の上、正確に入力ください。

様式7-1

(融通元接種施設記入欄)			(融通先接種施設記入欄)		
融通元接種施設名： _____			保管期限（脚注参照）：令和 年 月 日 午前・午後 時 分		
融通先接種施設名： _____			使用日	使用本数	残り本数
融通回数： _____ 回目					
融通元接種施設での保管温度（該当する温度帯に☑） <input type="checkbox"/> 2～8℃ <input type="checkbox"/> -60～-15℃ <input type="checkbox"/> -90～-60℃					
受け渡した日付：令和 年 月 日					
受け渡したバイアル数： _____ 本					
受け渡したロット番号（製造番号）： _____					
最後に超低温冷凍庫から取り出した時刻： 令和 年 月 日 午前・午後 時 分					
移送温度（該当する温度帯に☑） <input type="checkbox"/> 2～8℃ <input type="checkbox"/> -60～-15℃ <input type="checkbox"/> -90～-60℃					

左部分を記載の後、融通先接種施設に提供

様式7-2

(融通元接種施設名： _____)			
受け渡し日	融通先接種施設名	受け渡したバイアル数	受け渡したロット番号（製造番号）
4月1日	●●病院	20本	XXXXXXXXXXXXXX
日			

小分けを受けた場合（融通先）

【ワクチンを使用するタイミング】

ワクチンの使用日、使用本数、残り本数を情報提供シート（様式7-1）の右部分に記載し、保管。

様式7-1

(融通先接種施設記入欄)		
融通元接種施設名： _____		
融通先接種施設名： _____		
融通回数： _____ 回目		
融通元接種施設での保管温度（該当する温度帯に☑） <input type="checkbox"/> 2～8℃ <input type="checkbox"/> -60～-15℃ <input type="checkbox"/> -90～-60℃		
受け渡した日付：令和 年 月 日		
受け渡したバイアル数： _____ 本		
受け渡したロット番号（製造番号）： _____		
最後に超低温冷凍庫から取り出した時刻： 令和 年 月 日 午前・午後 時 分		
移送温度（該当する温度帯に☑） <input type="checkbox"/> 2～8℃ <input type="checkbox"/> -60～-15℃ <input type="checkbox"/> -90～-60℃		
使用日	使用本数	残り本数

ワクチンの保管期限や使用日などを記載し、3年間保存

ファイザー社ワクチンを2回以上融通する場合の留意点

2021年7月5日
事務連絡参考資料

再融通引継ぎシート

- ※ 濃い文字で記入する。更に次の施設に移送する場合は、受けとった本票をコピーの上、追記し引き継ぐ。追記前の本票は、融通元接種施設において保管すること。
- ※ 再融通（C欄の2→3、3→4、4→5の融通）を行う接種施設は、追記後の本票を様式7-4とともに、都道府県に送付すること。

A：基本情報

■融通するロット番号

B：冷蔵保存 開始日時・保存期限記録欄（冷蔵保存を開始した施設が記入する）

■冷蔵保存（2℃～8℃）に移行した日時

※冷凍庫から出した日時

年 月 日 時 分

■冷蔵保存期限

※ただし、バイアルの最終有効期限の方が早い場合はバイアルの最終有効期限を記入する。

○の31日後

年 月 日 時 分

C：移送先記録欄（融通する毎に、融通元の施設が追記して融通先の施設に渡す）

施設名	保存方法	移送方法	受渡し日時	受渡し本数
1. ファイザー社からワクチンを受けた施設	超低温冷凍 通常冷凍 冷蔵	○を付ける		
2.	超低温冷凍 通常冷凍 冷蔵	○を付ける	年 月 日 時 分	本
3.	超低温冷凍 通常冷凍 冷蔵	○を付ける	年 月 日 時 分	本
4.	超低温冷凍 通常冷凍 冷蔵	○を付ける	年 月 日 時 分	本
5.	超低温冷凍 通常冷凍 冷蔵	○を付ける	年 月 日 時 分	本

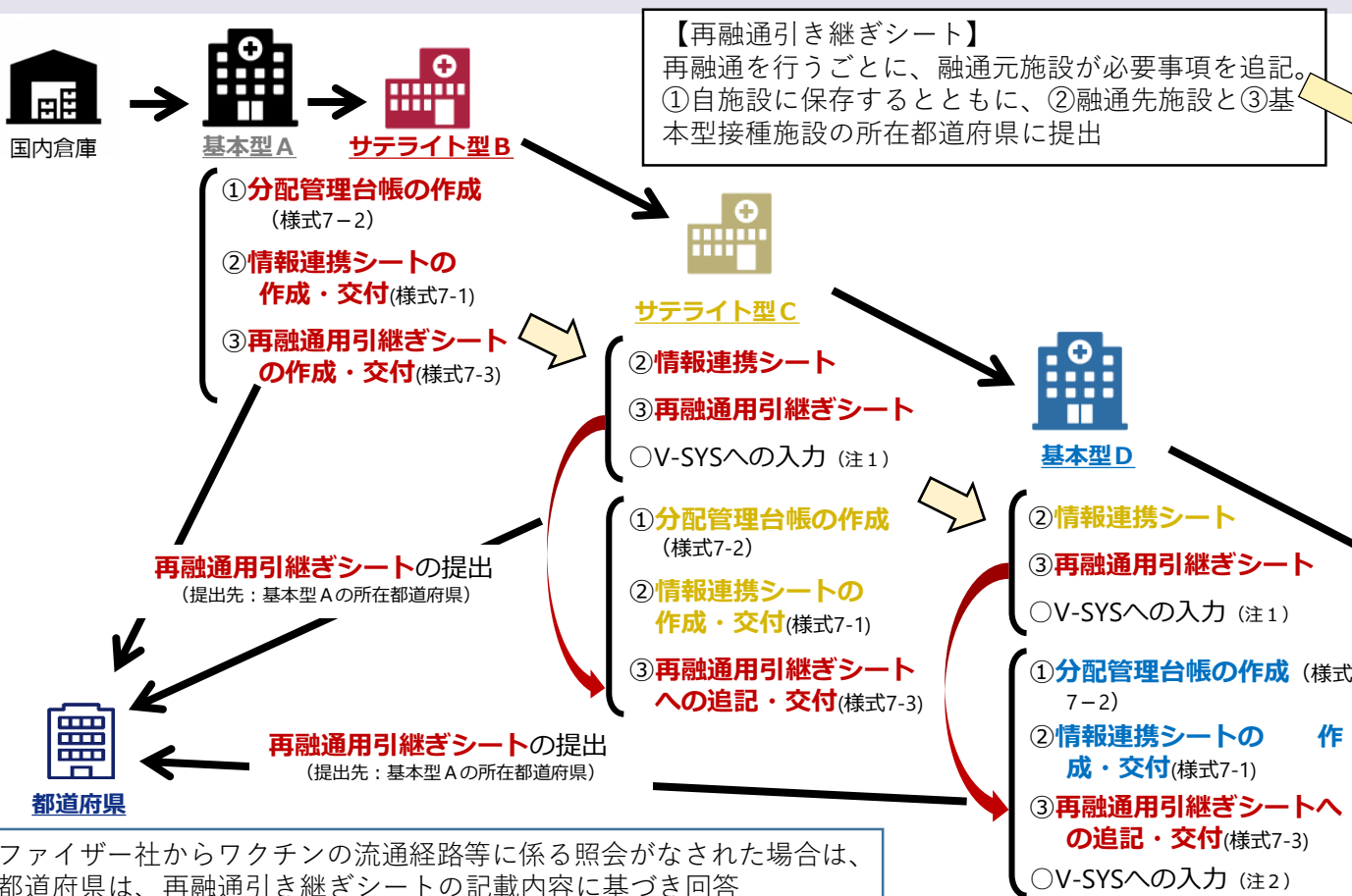
注：移送又は保存時に、通常冷凍（-15℃～-60℃）を行った場合は、以下に記入する。

※通常冷凍（-15℃～-60℃）は、1回に限り、2週間まで実施できる。

施設名	日付
通常冷凍の開始 （超低温冷凍から）	年 月 日
通常冷凍の終了 （超低温冷凍又は冷蔵へ）	年 月 日

ワクチンの不具合やトラブルにより緊急回収（リコール）が必要になった場合等に、早期にロットを特定し、適切に対応できる状態を担保しつつ、ワクチンをより有効に活用する観点から、以下の見直しを実施

- ① P社→基本A→基本/サテライトB→基本/サテライトC→基本/サテライトD…の小分けを認める。
- ② その際、基本/サテライトB以降の融通元施設は、再融通引継ぎシート（小分け元の施設、小分けの年月日、ロット番号、バイアル本数等の情報を記したシート）を基本Aの所在地の都道府県に報告することとする。



(注1) 再融通元施設の名称、移送を受けた年月日、ロット番号及びバイアル本数を入力

(注2) 融通元施設が基本型の場合は、移送したバイアル本数を入力

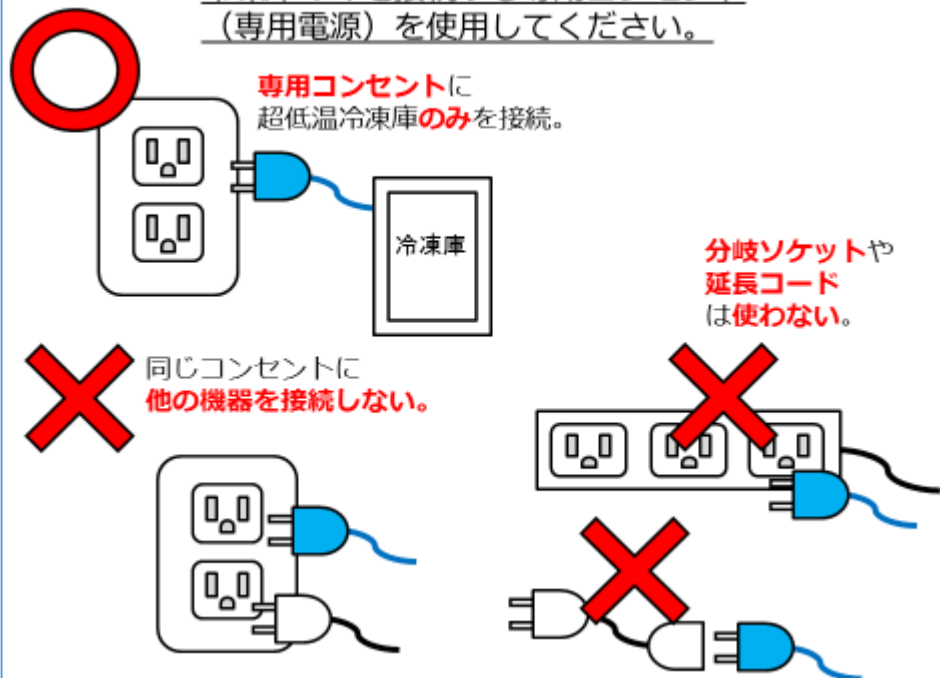
超低温冷凍庫の適正使用について

- 新型コロナウイルスワクチンを保管する医療機関において、超低温冷凍庫が稼働停止し、ワクチンの保管温度が逸脱した結果、ワクチンが使用不能となる事案が発生した。
- 消費電力の大きい機器を複数接続すると、**電流容量や起動電力の不足により、機能低下や機能停止に陥る場合がある**ことから、超低温冷凍庫を設置した施設または設置を予定している施設について、再度使用状況の点検を行うこと。

点検を行うポイント

- 機器の周囲に15cm以上の間隔を設ける。熱を発する物・機器の近くに冷凍庫を置かない。
- 専用ブレーカーを備えた専用回路を使用する。
- 分岐ソケットや延長コードを使用しない。

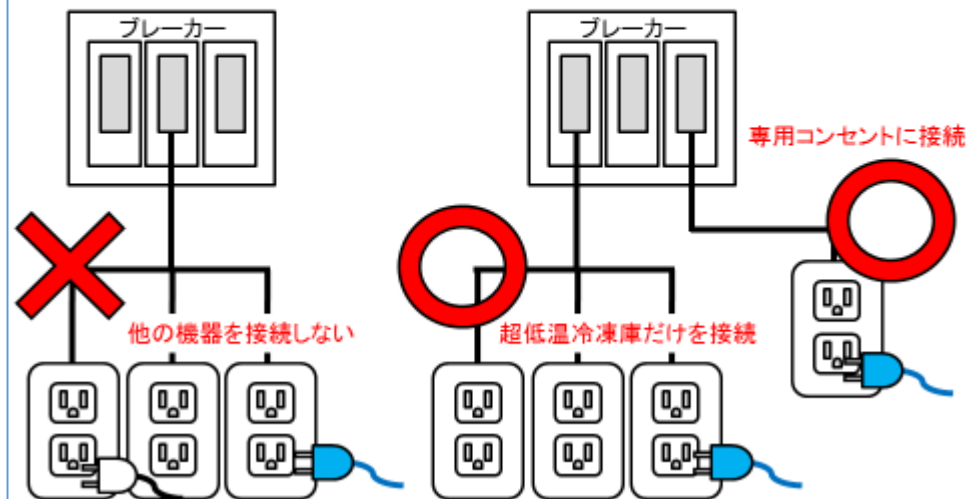
冷凍庫のみを接続する専用コンセント
(専用電源)を使用してください。



専用コンセント※のつもりでも、ブレーカーが複数のコンセントと共有されていると冷凍庫の運転に影響を与える場合があるのでよくご確認ください。

専用コンセントでない場合は、冷凍庫だけを接続してください。

※専用コンセント：分電盤の子ブレーカーから直接そのコンセント1つだけに接続されているコンセント

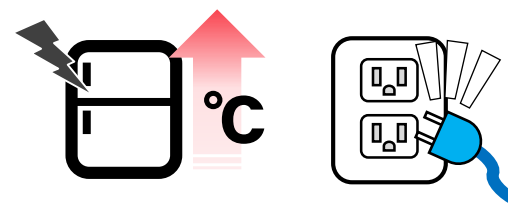


ワクチン保管の留意点①

温度逸脱によるワクチン廃棄事例が多く確認されている。ワクチンの温度管理を行う冷凍庫または冷蔵庫の設置環境についていま一度、十分な点検を行うこと。

主な原因

- 電源喪失、電力不足などによる庫内の温度上昇
- 冷凍庫、冷蔵庫、非常用電源設備等の不具合や不適切な使用
- 電源プラグの緩みや脱落による電源喪失



対応策

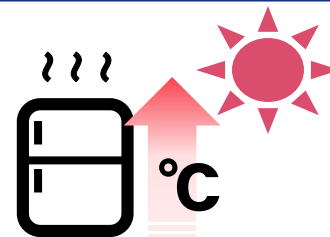
- 専用ブレーカーを使用し、分岐ソケット、延長コードは使わない。適切と思われる場合でも、電圧降下が起きていないか確認。
- 非常用電源設備を使用している場合でも、冷凍庫の運転電力を十分に満たしているか確認。
- 冷蔵庫での保管中はワクチン以外の物をいっしょに保管しない。
- 家庭用冷蔵庫などでは、霜取りのために一時的に庫内温度が上昇し、2～8℃の管理温度を超える場合があることから、使用を避けること。
- 電源プラグの緩みや脱落防止のため、プラグの状態を定期的を確認し、ワクチン保管部屋の入室管理や電源コードと職員の動線を干渉させないなど設置環境の改善。

ワクチン保管の留意点②

また、夏季に向け、外気温上昇、天災による停電などリスクも高まることから、万が一の事態に備えられたい。

夏季に向けて

- 冷凍庫を設置する**部屋が高温多湿にならないよう**使用環境の逸脱にも留意。
- 機器の周囲に壁などから**15cm以上の間隔**を設ける。
- 熱を発生する物・機器の近くに冷凍庫を置かない。



万が一に備えて

- 万が一の庫内温度の上昇を想定して、**定期的に温度確認を行い、早期発見に努める。**
- 温度逸脱があった場合、発見時の温度から**適した管理温度へとワクチンを速やかに退避する**など、平常時から対応手順を検討する。
- **蓄冷剤・保冷剤の導入**による冷凍庫、冷蔵庫内の温度上昇の緩和。

※令和3年4月9日付け事務連絡「冷凍庫（-20℃）の先行配付について」別紙1及び別紙2を参照

※蓄冷剤や保冷剤を活用する場合は、ワクチンを保管する前にあらかじめ冷却すること。